

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部 事務局の取組について



平成30年5月28日

beyond2020プログラムについて

◆beyond2020プログラムの趣旨（2017年1月末から認証開始）

- 2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化活動・事業を「beyond2020プログラム」として認証。
- ロゴマークの付与により、統一感を持って日本全国へ展開。

◆認証要件

- 日本の文化の魅力を発信する事業・活動
- 多様性・国際性に配慮した、以下のいずれかを含んだ活動・事業
 - ・障害者にとってのバリアを取り除く取組
 - ・外国人にとっての言語の壁を取り除く取組

◆ロゴマーク



- ・ロゴマークのデザインは、「いいね」や「グッド」などの賛同のジェスチャーをモチーフ。加えて、beyondの「b」や、日本を象徴する「わ」とも読み取れる。
- ・日本の文化を共に継承し拡げていきたい、との願いを込めて、2020年を新たな発展へのステップとしてシンボライズしたロゴマーク。

認証組織の拡大について

◆認証組織になれる者（認証要領を作成し、認証事務を行うことができる者）

- (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議の構成員及びオブザーバーが属する組織
- (2) 都道府県及び政令市
- (3) 商工会議所

◆認証組織数（50組織）

【国等（8）】

内閣官房オリパラ事務局、文化庁、外務省、(独)国際交流基金、内閣府知的財産戦略推進事務局、厚生労働省、経済産業省、観光庁

【都道府県（32）】

北海道、岩手県、秋田県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、富山県、石川県、山梨県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、島根県、岡山県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

【政令指定都市（9）】

仙台市、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市

【その他（1）】

京都文化カプロジェクト実行委員会（京都府、京都市、京都商工会議所）

認証組織が作成した独自ロゴマーク

京都文化カプロジェクト
実行委員会



栃木県



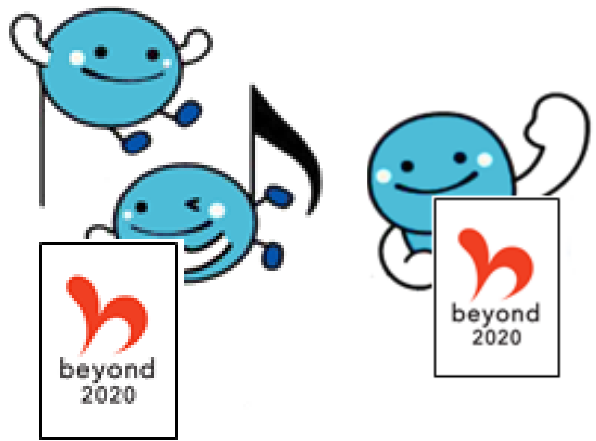
千葉県



岩手県



高知県



認証状況(平成30年5月25日現在)

| | | | | |
|---------------|---------------|--|----------------|---------|
| 認証件数 | 4, 585件 | | | |
| 開催地域別 認証件数 | ・北海道 | 90件 | ・近畿 | 451件 |
| | ・東北 | 199件 | ・中国 | 287件 |
| | ・東京 | 465件 | ・四国 | 162件 |
| | ・関東(東京除く) | 670件 | ・九州 | 249件 |
| | ・中部 | 559件 | ・海外 | 1,412件 |
| | | | ・その他(インターネット等) | 41件 |
| 団体分類別 認証件数 | ・国の機関 | 1, 519件 | ・株式会社等 | 181件 |
| | ・地方公共団体 | 883件 | ・その他(実行委員会等) | 1, 236件 |
| | ・公益法人等 | 766件 | | |
| 実施分野別 認証件数 | ・伝統芸能・まつり | 583件 | ・演劇 | 152件 |
| | ・現代アート・メディア芸術 | 152件 | ・美術 | 335件 |
| | ・食文化 | 143件 | ・工芸 | 102件 |
| | ・障害者芸術 | 63件 | ・映画・写真 | 247件 |
| | ・音楽 | 830件 | ・その他 | 1, 978件 |
| 主なイベント | ○地域の祭り | :よさこい祭り(よさこい祭振興会)、神田祭(神田明神) | | |
| | ○ファッション | :東京ガールズコレクション(ガールズコレクション実行委員会) | | |
| | ○現代アート・芸術 | :ヨコハマトリエンナーレ(横浜トリエンナーレ実行委員会) 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ(大地の芸術祭実行委員会) | | |
| | ○食文化 | :國酒PR推進事業(日本酒造組合中央会) | | |

beyond2020プログラム認証事業例①

東北絆まつり

実施団体：東北絆まつり実行委員会

東北6市を代表する祭りが盛岡市内に一堂に集結。
会場内ステージ上に手話通訳者を配置、パレード
コース上に車椅子利用者等のスペースを設置。また、
ガイドブック等は英語版を作成。

TOHOKU KIZUNA FESTIVAL 2018

多彩な東北が、熱い絆でひとつになる。

東北絆まつり盛岡

2018.6.2 SAT・3 SUN

盛岡市内

2日/10:00~19:00
3日/10:00~17:00

イベント：盛岡絆公園多目的広場・北立広場、もろがき歴史文化遊園地等 ほか
（注）：中央公園（盛岡市東区）第一種市営公園の一部が臨時の会場となります。

JTBグループのユニバーサルツーリズム

実施団体：株式会社JTB

「年齢・性別・国籍・障がいの有無にかかわらず、お
客様が安心してご利用いただける旅行会社」として、
ユニバーサルツーリズムの取組を通じて、すべての
人に日本文化の魅力を発信。

JTBグループの
ユニバーサルツーリズム商品の紹介

JTBグループは、「年齢・性別・国籍・障がいの有無にかかわらず、
お客様が安心してご利用いただける旅行会社」を目指して、
「ユニバーサルツーリズム」を推進します。

JTBグループの
ユニバーサルツーリズム
とは？
◎ 詳しくはこちら

- ご高齢のお客様
- 小さなお子様連れの
お客様
- 外国人のお客様
- 運動の苦手な
お客様

beyond
2020

JTBの「ユニバーサルツーリズム」
の取組が旅行業界をリードする

4月からの 4/1・9/30迄

身体にやさしい宿

SunsRiseホテルのバリアフリーの宿
15,400円～17,700円

1111

2泊3食付
10名まで

4月の先着2名様
1000円お祝い

SUNRISE TOURS JTB

For Travel Agent

JAPAN

198,000円

Tokyo, Mt. Fuji
Nikko, Kamakura
Kyoto, Osaka, Nara
Takayama, Shirayama-go
Kanazawa
Hiroshima, Miyajima

beyond2020プログラム認証事業例②

バリアフリー能@横浜能楽堂 実施団体:横浜能楽堂

障害がある方にも、気軽に能楽を楽しんでいただけるよう点字チラシ、副音声、手話通訳、パソコン通訳などのサポート態勢を整備。また、能楽を身近に感じてもらえるよう、能面を触って楽しめるブースを設置。



外務省 在外公館文化事業 実施団体:外務省

対日理解の促進や親日層の形成を目的として、外交活動の一環として開催する日本文化の発信事業。映画上映会、武道デモンストレーション、陶芸・郷土玩具・折り紙作品・生け花等の展示等を実施。近年では「ポップカルチャー」や日本の食文化PR等を積極的に奨励。



オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査について

大会の機運醸成に向けて特別に実施される要素(多言語対応・バリアフリー対応等)を含む文化イベントについて、試行プロジェクトを実施することにより、その効果と課題を分析。

◆平成30年度実施概要

- 試行プロジェクトを全国から公募し、有識者等審査会による審査を経て選定。
- 30年度は、1件当たり上限1,000万円のプロジェクトに加え、2020年に向けて文化の情報発信拠点となりうる場所を活用して、象徴的な空間で効果的な文化発信がされるプロジェクト(1件当たり上限3,000万円)を新たに募集。

【応募要件】

- オリパラ大会の機運醸成に向けた、質の高い日本文化の普及・魅力発信の内容であること
- 国内外での普及・魅力発信のため、多言語対応、バリアフリー対応、国際標準化・規格化対応のいずれかを促進する取組みとその効果検証ができること
- プロジェクトの実施を通じて次世代に残すべき遺産(レガシー)を提示されていること
- 2020年東京オリパラ大会に向けて何を実現するのか、2020年東京オリパラ大会開催年に何を実施するのか、2020年東京オリパラ大会以降何につなげていくかが含まれた実施計画が提示されていること

◆採択実績

平成28年度 32件

平成29年度 21件

→ 平成30年度は、10件程度を予定

平成29年度実施試行プロジェクト例①

○ TOKYO MURAL PROJECT in 新虎通り

新虎通りに立地する建物壁面に壁画を描き、街全体をアートギャラリーへと一変させるプロジェクト

(検証ポイント)

- ・日本におけるパブリックアートの発展可能性
- ・屋外広告物条例の規制範囲内での壁面絵画の可能性を模索



○ HANABI Fes. 2020

障害者が名人花火師の指導の下、自ら花火をデザイン。実際に打ち上げられた花火を会場で観覧

(検証ポイント)

- ・屋外イベントにおける障害者参加の物理的なバリアへの対応
- ・当事者参加による心のバリアフリーのあり方



平成29年度実施試行プロジェクト例②

○ 夕暮れ能@伏見稻荷大社

夕暮れ時の伏見稲荷神楽殿において、地酒を嗜みながら能を楽しむイベント
日本の美意識「幽玄」を体感

(検証ポイント)

- ・寺社仏閣、文化財等(ユニークベニュー)の有効活用
- ・伝統芸能のリデザイン化と海外発信



○ 犬山からくり町巡り

日本のものづくりの原点である「からくり」を、外国人目線で磨き上げ、国宝犬山城とセットで新たな有カコンテンツとして創出

(検証ポイント)

- ・地方におけるインバウンド対策としての新規コンテンツの確立
- ・多様性を受け入れた体験型プログラムの実施
(外国人・障害者の参画)



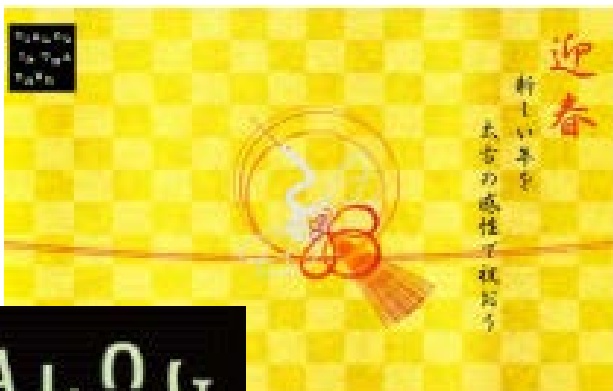
平成29年度実施試行プロジェクト例③

○ ダイアローグインザダーク

視覚障害者のアテンドのもと、晴眼者(車椅子、外国人含む)が完全な暗闇の中で、茶道や書道、こたつに入っているカルタなど、日本のお正月文化を体験

(検証ポイント)

- ・障害を価値に変える試み、障害者の特性(感性)を日本のものづくりに活かす取組
- ・ダイバーシティ社会への理解促進



○ 大相撲beyond2020場所

障害者や外国人を招待して、特別な場所を実施。手話通訳や字幕モニター、溜席への車椅子のエリア設置、外国人向けの日英同時解説を実施

(検証ポイント)

- ・多様な障害者向けのバリアフリー対応
- ・日本文化の理解促進のための多言語対応の手法



【29年度:21件】

| NO | 団体名 | 試行プロジェクト名 | プロジェクト概要 | 実施時期 | 実施地域 |
|----|--|---|---|-------------------------------|---|
| 1 | 森ビル株式会社 | TOKYO MURAL ART PROJECT in 新虎通り プレイベント | 「新虎通り」において国際的に認知が高いが日本国内では実施事例の少ないMURAL ART(壁画)を描き、街全体をアートギャラリーに一変させるプロジェクトを実施。 | 10月～ ※お披露目イベント 10/13～14 | 新虎通り |
| 2 | 公益財団法人 江戸系あやつり人形 結城座 | “江戸の粋”夏の風物詩復活！ 「江戸写し絵」で船遊び | 江戸時代に盛んであった江戸の粋な風物詩、船上で行われる伝統芸能「江戸写し絵」を150年ぶりに復活させ、多言語化し上演。関心と理解を深めて頂くために展示、講演、体験、紹介パンフレット作成等を行うことで、伝統文化の魅力を国内外に周知普及し、機運醸成を行った。 | 9月15日～11月30日 (公演は10/2、3日) | 隅田川、江東区水系、 江戸東京博物館、江東区深川江戸資料館、江東区船番所資料館等 |
| 3 | 一般社団法人 日本花火推進協力会 | 東京オリンピック・パラリンピックに向けたHANABI Fes. 2020 | 名人花火師を招いて障害者の就労支援をしている事業所で、花火のワークショップを開催。ワークショップで障害者が花火をデザインし、その中から6作品を選定。実際の花火大会で打ち上げを行った。また、デザインした障害者自身も会場で鑑賞。※8/19(土)多摩川花火大会で実施予定だったが中止となったため、10/14(土)NARITA花火大会で実施 | 10/14(土) | 成田・印旛沼 |
| 4 | 公益財団法人金剛能楽堂財団 | 夕暮れに屋外で愉しむフェス的感覚の能公演@伏見稲荷大社 | 京都伏見稲荷大社の夕暮れ時の神楽殿を活用し、伏見の地酒を嗜みながら日本が誇る美意識「幽玄」に没入する能のフェスイベント「夕暮れ能舞台」を実施。 | 9/8(金)夕方 | 京都伏見稲荷大社内・神楽殿 |
| 5 | 公益財団法人 日本相撲協会 | 平成29年度 大相撲beyond2020場所 | 視覚・聴覚障害者、外国人を対象にした取組みに加え、今年度は新たに車椅子利用者向けの課題(車椅子による溜席エリアでの鑑賞)検証を付加した花相撲を開催。溜席の車椅子20名を含む障害者約800名、31か国、約400名の外国人など約4000名が来場。 | 10/4(水) | 両国国技館 |
| 6 | 松竹株式会社 | 歌舞伎のモノ・コト展 — KABUKI meets CRAFT | 京都の冬の風物詩である歌舞伎「吉例顔見世興行」の取組と連動し、「京都伝統産業ふれあい館」において、総合芸術としての歌舞伎の魅力と物語を伝える企画展「歌舞伎のモノ・コト展」を開催。継承が困難になっている伝統工芸に光を当てながら、訪日観光客や若年層など新しい客層を開拓に取り組んだ。 | 11月17日(金)～ 12月18日(月) | 京都伝統産業ふれあい館 |
| 7 | 一般社団法人ダイアログ・イン・ザ・ダーク ローグ・ジャパン・ソサエティ | ダイアログ・イン・ザ・ダーク show case for 2020 Tokyo 暗闇で楽しむ日本文化と伝統工芸 | 視覚障害者の案内人と共に真っ暗闇を体験する「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」を特別にアレンジし、暗闇の中で日本の新春行事、茶道、伝統工芸品(視覚障害者の感性を活かして職人と共同開発した会津漆器「めぐる」)等を体験するプログラム。 | 1月6日～1月10日 | 東京都中央区 |
| 8 | 一般社団法人 1964 TOKYO VR | TOKYO 1964 VR PROJECT | 1964年当時の東京の風景をデジタルテクノロジーにより3次元モデル化、VR体験できるコンテンツを制作し公開。今後、往時の東京の写真を都民・企業・自治体が共同して広く収集・蓄積、現代の風景と対比できるアーカイフを構築することで、東京という都市の成長と変遷を浮き彫りにし、その奇跡とも言える都市文化の価値を広く内外に発信することを目指す。 | 2017年10月～ 2018年2月 | 東京都渋谷区内・ 公式WEBサイト・SNS |
| 9 | 株式会社デザイナーナート | DESIGNARTが発信する世界一クリエイティブな街ー東京エリアの回遊性を高めるサービス試行プロジェクト | 世界レベルを誇るクリエイティブ資産を持つ東京の価値をグローバルに伝え届けるとともに、次世代に繋ぐ東京の新たなレガシーを国内最大級のデザイン&アートフェスティバル「DESIGNART 2017」を舞台に生み出す。同時に東京の持つクリエイティブなポテンシャルを世界中から訪れる旅行者に提供するために、東京クリエイティブマップおよびマップツールの開発を行い、東京内の回遊性を高める実証実験を実施。 | 10/16(月)～22(日) | 東京(表参道、原宿、渋谷、代官山、六本木のストリート) |
| 10 | 株式会社妹島和世建築設計事務所 | サスティナブル・リビング「犬島スタイル」 | 瀬戸内海の犬島で行なわれている、ユニークな持続可能な暮らし方(サスティナブル・リビング)と国内外のアーティストが有する創造性を、ワークショップなどを通じて結び付け、国内外に発信。 | 2017年9月23日～ 2018年1月17日 | 岡山市犬島 |

| NO | 団体名 | 試行プロジェクト名 | プロジェクト概要 | 実施時期・期間 | 実施地域 |
|----|-----------------------------------|--|---|----------------------------|--|
| 11 | 特定非営利活動法人 グラッド12 | マンガ・アニメ・ポップカルチャーの祭典 「くまフェス」 | 九州最大級のマンガ・アニメなどのポップカルチャーをテーマにしたイベント。今回は、12月2日・3日に、「くまフェス」としては初となる、熊本のシンボル“熊本城”二の丸公園を中心に開催。 | 12/2(土)・3(日) | 熊本城二の丸公園 他 |
| 12 | 株式会社PechaKucha | PechaKucha Japan Huddle 2017 | 20枚のスライドを20秒ずつ話すプレゼンテーション形式で誰でも参加できるイベントとして世界約1000都市で開催されるまでに広がったもの。2020年のビッグイベント開催に向け、日本各地の文化を世界に発信し海外のクリエイターを受け入れる基盤づくりのため国内開催都市の会議とイベントを開催。 | 11/22(水)・23(木) | 東京 |
| 13 | 公益財団法人日本財 団パラリンピックサ ポートセンター | 「GO」プロジェクト ～インクルーシブ社会 へ向けた写真展・トークイベント～ | フォトグラファー・嵯川実花氏とのコラボ企画であるファッション・アーティスト×パラスポーツを写真で紹介する『GO』プロジェクト。アートや日本文化に敏感な国内外の人が行き交う日本文化発信拠点で企画展・トークイベントを開催。来場者に障がいの有無、国籍や人種、言語等、様々な違いを個性として受け入れ、多様性を理解しあう心を醸成、インクルーシブ社会の実現へむけたきづきとメッセージを発信。 | 2017年11月22日～ 2018年1月14日 | 東京、三重 |
| 14 | 株式会社KADOKAWA | 「フレフレ 2020」動画プロジェクト | 動画プラットフォームを用い、皆がいま夢中になっていること、世の中に広めたいことを撮影した映像を募集。部活動を頑張る学生、地方の祭りを継承する人、ライブペインティングで地域を活性化したい人など、多様なジャンルの投稿を促進。SNSも活用し、海外に向け、最先端の日本文化を広く発信。 | 2017年8月25日～ 2018年2月15日 | コンテスト:オンライン/ 上映イベント:東京 都/投稿サポート 活動:全国 |
| 15 | 株式会社 テレビ東京 | 世界を繋ぐ! 盆栽 BONSAI meets the World | 「五感で楽しむ」体験型盆栽イベント「BONSAI meets the World」を開催し、外国人旅行者、ブロガーやメディア関係者などを集め、盆栽師:平尾成志氏によるパフォーマンスをDJの音楽と併せて披露。コケ張り体験コーナーでは英語解説と多言語音声ガイダンスも用意。和食と銘酒も提供し、五感が満足するイベントとして実施。 | 11/22(水) | 東京 |
| 16 | 公益社団法人全日本 郷土芸能協会 | 獅子よ集まれ! 東北宮城へ | 岩手・宮城・福島県の3県で復活した郷土芸能「獅子舞」の公演を通して、地域の振興を図るとともに、東京オリパラ大会の開催を地方から盛り上げる。多様な獅子舞が被災地であり、また東北の文化交流の中心地でもある宮城県仙台市に集い披露することで、世界に復興の姿を発信。 | 11/11(土)・12(日) | 宮城県仙台市 |
| 17 | 白浜町 | “湯のまち白浜”文化の祭典「みんな集まれ! しら・はぐフェスティバル」 | 文化と福祉の祭典「みんな集まれ!しら・はぐフェスティバル」を機軸として、地域の伝統・文化・福祉を発信し、既存観光イベントや他市町との交流事業を展開。モニターツアー等を通じて、障がい者への理解促進、訪日外国人の受け入れ体制づくりをはかり、東京大会への機運を醸成。 | 10/21(土)・22(日) | 和歌山県白浜 全町対象 |
| 18 | 犬山祭企画委員会 | 犬山からくり町巡り | 犬山のからくり文化を国内外へ情報発信し、地域間の文化交流の促進と外国人・障害者・高齢者を含む観光客の誘致を行うことにより、2020年東京オリパラ大会への関心を高め、同時に地域経済の活性化を図るため、従来の祭を外国人目線新たなコンテンツとして秋に実施。 | 10/28(土)・29(日) | 犬山城下一円(愛知 県犬山市) |
| 19 | 公益社団法人 びわ 湖大津観光協会 | 大津京遷都1350年を機とした文化の観光 産業化事業 | 世界遺産、日本遺産を含む大津市内十社寺を国内外の情報発信拠点とするため、比叡山延暦寺、三井寺、西教寺による「天台三総本山」観光キャンペーンの成功をもとに東京オリンピック・パラリンピックを見据え特にインバウンドの拡大を目指した5年計画事業へと計画。 | 11月5日(日)～ 12月3日(日) | 滋賀県大津市(石山 寺、三井寺、日吉大 社) |
| 20 | 公益財団法人沖縄県 文化振興会 | 世界エイサー大会2017 Worldwide Eisa Festival 2017 | 文化の祭典であるオリパラ開催に向け、沖縄県独自の伝統芸能であるエイサーを広く発信し、多様な文化を受容する日本の精神を示し、オリパラ開催に向けた気運醸成に寄与するため、高齢者や障害者でも踊れるエイサーを考案・紹介し、コンテストの様子を国内外へ発信。 | 11/4(土)・5(日) | 沖縄県(国立劇場お きなわ) |
| 21 | 特定非営利活動法人 全国地域生活支援 ネットワーク | 日本の障害者の優れた文化芸術の国際的 評価を検証し発信する全国巡回プロジェ クト～見聞 2017 ジャパン×ナント プロ ジェクトの全貌～ | 「2017ジャパン×ナントプロジェクト(10月ナント市開催)」にて発表される日本の障害者の優れた文化芸術を、広く国民に周知する。本事業を通して、東京2020大会に向けて障害者のバリアフリー対応を促進するなど、障害者がより活発に文化芸術活動を行う環境を醸成。 | 2017年8月16日～ 2018年1月15日 | 鳥根県、長崎県、埼玉 県、東京都、北海道、愛 知県、福岡県及び全国 に広報周知 |

「公共空間を活用したイベント促進相談窓口」について

◆背景・趣旨

イベント主催者等から、2020年に向けて、様々な文化イベントの実施場所として公共空間を活用したいとの声が聞かれるが、公共空間の活用にあたっては、様々な制度と整合性を図る必要があり、円滑な実施が難しいケースがある。



オリパラ事務局内に、イベント主催者等から相談を受け付け、自治体等の関係部局との調整等を行う「公共空間を活用した文化イベント促進相談窓口」を設置(10月27日付け)

◆対応方針

beyond2020プログラムの認定を目指し、民間主導で公共空間を活用した文化イベントを企画・実施する者から、公共空間を活用した文化イベントの実施に必要な所要の手続き等に関する相談を受け付け

- ※ 関係する省庁・自治体等と調整・連携し、案件の内容に応じた支援の実施
- ※ オリパラ事務局と文化経済戦略特別チームが共同して対応
- ※ 同様の取組を促す観点から、支援内容の概要を公表